

# 第三者評価結果 公表シート

(このシートに書かれている内容は、そのまま富山県福祉情報システムにおいて公表されます。)

事業所名： 富山市立大久保保育所

第三者評価機関名： 社会福祉法人 富山県社会福祉協議会

評価確定年月日： 平成 29 年 2 月 10 日

## 1. 概評

### ◇ 特に評価の高い点

＝《企画力・組織力・安全管理・保育内容のバランスのある保育所運営》＝

- (1) 企画力…保育理念は、当該保育所の独自理念として職員全員で討議・合議の上定めている。基本方針は、行政の方針と「保育所保育指針」をベースに当該保育所の特性や機能・環境を生かし家庭との連携や地域の関係機関との関わり方まで網羅して策定されている。
- (2) 組織力…「地域の中の保育所」をビジョンに掲げ、平成 32 年度を到達点に 5 年間の中・長期計画が策定されている。中・長期計画は、保育内容・組織体制・人材育成等の分析を行い課題も明らかにしている。又、単年度の事業計画は、高齢者との触れ合いや地域伝統行事「高砂山願念坊踊り」参加等 中・長期計画の精神を反映して作成されている。評価や見直しは、反省点や改善点の洗い出しを含め組織的・継続的に行われている。各職員は、定期的に自己評価を行い各自で反省点や改善点を検討して、試行錯誤しながら全職員で「保育の質の向上」を目指して取り組んでいる。
- (3) 安全管理…職員は「ヒヤリ・ハット」の記入が習慣化しており、事故防止に向けて『どう接するか』『どこに注意を払うか』等を考え行動している。登降時に所長が玄関先に立ち、挨拶をしながら子ども達や保護者を見守り、駐車場での安全を確保している。又、セキュリティ面や食の安全・衛生面の各種マニュアルの整備や見直しが定期的に行われ、エビデンスに基づき安全・安心の担保された保育所運営が行われている。保育所で子ども達は、先進的建物と恵まれた周辺環境の中、『笑顔の明るい子ども』『元気で挨拶が出来る子ども』『優しく積極的な子ども』としてすくすく育っている姿が現認される。
- (4) 夢のある園舎・のびのび遊べる広場、幼保交流保育…ピーターパンをイメージした園舎、部屋の基調色がピンク・みどり・黄色にまとめてあり、明るくて心地よい。廊下もわざと曲げて騒音を消す設計がされている。絵本コーナーは親子で楽しめるように設置され、未満児専用のクローバーの丘や川のせせらぎ・幼稚園と共有の園庭・サッカーや運動会などが出来るピーターパン広場など、広大で心身ともに伸び伸び遊べる戶外施設が充実している。  
「なかよしプラン」で幼保交流保育年間計画(年齢別)をたて、保育目標「みんなと仲良くする子どもを育てる」を基本に実施している。進級の会・ゲーム遊び・遠足ごっこ・お互いの施設見学など楽しみながら親交を深めている。毎週水曜日を幼保交流日として、一緒に散歩やプレールーム、グラウンドで交流している。

## ◇ 改善を求められる点

### ＝＜入所児童数の変化に即応した柔軟な職員配置に期待＞＝

- (1) 人事・労務管理…行政側では、保育所職員の自己申告表による異動や勤務地の変更等の希望の聴取機会や保育所管理者から口頭による職員の様々な意向の具申、正規職員の業績評価表の提出等がなされ総合的な取り組みとしては評価される。又、必要な人材や人員体制・常勤職員や非常勤職員の比率改善・人材確保や職員配置等について所轄官庁で一元的に管理されているのは了とされる。しかし、児童受け入れ人数増加のケースに於いて、職員の工夫や努力で作業の見直しや改善等が進み業務効率が向上しても、児童数の増加に対応出来る範囲内であれば良いが、それを超えると組織内に「無理」・「無駄」・「ムラ」が発生し『質の高い保育サービスの確保』、就業規則の履行・労務面・処遇面等の肝心な組織運営に支障を生じる懸念がある。中・長期的な組織疲労の蓄積が人材の流出や組織の空洞化に繋がりがねず修復に相当の時間が必要となる。自治体での保育士確保が難しい環境下、新たな人材確保には労を要する事から、入所児童数の変化に応じ職員配置が可能となるよう、行政側での迅速で柔軟な「職員配置体制のルールの見直し」が求められる。

### ＝＜地域の子育て支援の充実に期待＞＝

- (2) 子育て支援…「子育てサークル」が今年度から児童館に移動したため保育所では、子育てサークルや交流が定期的に行われていない。地域の子育て家庭の実情を把握し、ニーズを掘り起こし事業に反映するためにも、大久保保育所で無理のない「子育てサークル」を開催していただきたい。子育て中の家族が保育所で生活している子ども達を直接見る機会も大切な事である。

## 2. 大項目毎の特徴

### 1. 運営管理

- ・保育理念は、保育所の役割や使命を明文化し、行政の理念の流れに沿って、大久保保育所の理念として、職員全員で討議と合議が行われ独自の保育理念として定めている。
- ・基本方針は、行政側の理念と「保育所保育指針」をベースに保育所の特性や機能、環境を生かし、家庭との緊密な連携や地域の関係機関との具体的な関わり方を網羅したものになっている。
- ・「地域の中の保育所」をビジョンに掲げ、平成 32 年度を到達点に 5 年間の中・長期計画が策定されている。中・長期計画は、保育内容・組織体制・職員体制・人材育成等の分析を行い、課題を明らかにしている。
- ・「幼保交流なかよしプラン」を軸に年間計画が実施されている。また、高齢者との触れ合いを行い、地域伝統行事の「高砂山願念坊踊り」は子ども達に親しまれている。
- ・単年度の事業計画は、中・長期計画を反映している。各種計画は職場会議や年齢別会議等、組織的に話し合いが行われ策定されている。
- ・評価や見直しは、各クラスの複数担任できめ細かな保育が出来るよう嘱託職員を含めた全員で運営を行っている。
- ・反省点や改善点の洗い出しについても組織的に行われている。策定した中・長期計画は、全職員に配布・職場会議録は回覧して周知を図っている。

- ・各職員は、定期的に自己評価を実施し各自の反省点や改善点を考え、試行錯誤しながら「保育の質の向上」に取り組んでいる。自己評価は職員全員で取組み、組織的に運営され見直しは定期的に行われている。
- ・市の子育て支援課発行の「保育所における個人情報の取り扱いについて」のガイドラインを基軸に、保育所独自のマニュアルが作成されている。職員全員に周知して行動出来るような体制が組織内で構築され実行している。
- ・安全対策の取り組みとして、各部署に関連マニュアルを設置し、内容に沿って職員全員が実行できるよう組織的・継続的に訓練が行われ日常業務の一環として定着している。
- ・職員の「ヒヤリハット」の記入が習慣化しており、事故防止に向け『どう接するか』『どこの注意を払うか』を考えて行動している。
- ・所長は、日常誠意を持って保護者と向き合い、要望を真摯な態度で受け止め改善している姿を他の保育士に見せることが、管理者の責務であり責任者として、リーダーシップに繋がるものと信じて、背中を見せて業務に邁進している。

## 2 地域住民や関係機関との連携

- ・地域の老人会の方に「シニア保育サポーター」として来所してもらい、保育所への理解を図っている。地域の社会福祉協議会や児童館の総会等に管理者が参加し、地域の中の保育所として密接な関係性を構築している。

## 3 子どもの発達援助

- ・心地よい保育環境を十分活用し子どもたちが、幸せに伸び伸びと生活できることを第一と考え、職員一人一人が思いを共有し努力している。
- ・子供たちの健康管理に十分配慮している。アレルギー食の確認は、調理員、所長、副所長、保育士が担当し保育室でも担任が再度確認するなど徹底している。
- ・異年齢別保育、年齢別保育の中で「元気」・「やる気」・「輝き」を大切にして子どもの立場から「育つこと」・「育てること」を職員が一丸となり配慮している。
- ・立山青少年の家体験活動、セントラム乗車体験・新幹線見学・ウインディプール体験・野菜作り体験など、年齢に合った色々な体験活動を積極的に行っている。
- ・幼稚園、小学校、老人会などの交流が多く、保育所側から積極的に働きかけている。
- ・体調不良の子どもに対しては、病児食を提供している。

## 4 子育て支援

- ・個人面談、懇談会、保育参加などを実施し、保護者の子育ての悩みや相談を受けたりし、家庭との連絡が密である。
- ・連絡帳、送迎時の会話などで、情報の共有や共通理解に努めている。
- ・保育所見学は年間15件程度あり、快く引き受け、地域の子育て家庭の支援を行っている。

### 3. 各小項目にかかる第三者評価結果(ABCD評価結果) (別紙)

#### 4. 第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受審できたことで「どんな子どもに育てたいか」「子どもの最善の利益とは」という保育理念や保育方針、保育目標などを全職員が更に意識して子どもに向き合うようになってきました。また、職員一人一人が自分の保育を振り返り自己評価し、日頃の保育の中での気づきを職員間で話し合い共通理解するなど、組織としての質の向上につながる良い機会となりました。

今回改善すべき課題である子育て支援については、近隣の支援センターの行事に子ども達が参加したり、保育所の行事に誘ったりして交流を深めています。また、大久保保育所は平成29年度から親子サークルを開催する予定です。地域の子育て家庭の実情やニーズを把握し、子育て家庭の悩みや育児相談に応じ、子育ての楽しさを伝え子どもの成長を共に喜び合い信頼される保育所にしていきたいと思っています。

また今年度、地域のお年寄りが主になるシニア保育サポーターの方から「大久保の子どもは、みんなの宝である。だから、守っていかなければいけない」という力強い言葉を頂き感謝すると共に、ますます意欲がわいてきました。

今後は、第三者評価の結果を踏まえ、全職員で課題を明確にし、更なる向上を目指していくと共に地域や関係機関との連携を深め、地域の中の保育所として信頼される保育運営を行っていきたいと思います。お忙しい中、アンケートにご協力頂き保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

別紙 各小項目にかかる第三者評価結果（A B C D評価結果）

大項目		
中項目	小項目	評価

1 運営管理		
(1)基本方針	①理念及び基本方針が明文化され、職員、保護者、関係者に周知するための取り組みが行われている。	A
(2)中・長期計画	①中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	A
	②中・長期計画が適切に策定されている。	A
(3)組織運営	①保育の質の向上や改善のための取り組みを、定期的な自己評価など、職員参加により行っている。	A
	②職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。	A
(4)守秘義務の遵守	①守秘義務の遵守を周知している。	A
(5)情報提供・保護者の意見の反映	①情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている。	A
	②保育の実施に当たり、保護者から意見を聞くための取り組みを行い、その意向に配慮している。	A
	③保育サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	A
(6)安全・衛生管理	①事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されているとともに、事故防止のための具体的な取り組みを行っている。	A
	②調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	A
(7)人事管理	①人事管理の体制が整備されている。	B
(8)経営管理	①予算管理の体制が整備されている。	B
(9)管理者の責任とリーダーシップ	①管理者の責任が明確にされているとともに、リーダーシップが発揮されている。	A

2 地域の住民や関係機関との連携		
(1)地域の住民や関係機関・団体との連携	①医療機関・児童相談所などとの相談・連携体制を整えるとともに、その他地域の関係機関に関する情報を収集している。	A
	②小学校、地域団体、地域住民などとの連携、交流が図られている。	A
(2)実習・ボランティア・保育体験	①実習生、ボランティア、保育体験などの受け入れ体制が整っている。	A

3 子どもの発達援助		
(1) 発達援助の基本	①保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	A
	②指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を見直している。	A
	③一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	A
	④一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。	A
	⑤一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。	A
(2) 健康管理・食事	①登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。	A
	②健康診断(歯科健診含む)の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
	③感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応じて保護者に連絡している。	A
	④専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。	A
	⑤日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている。	A
	⑥食事を楽しむことができる工夫を保育士がしている。	A
	⑦食事を楽しむことができる工夫を栄養士、調理員などがしている。	A
(3) 保育環境	①子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	A
	②生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	A
(4) 保育内容	①子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。	A
	②基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している。	A
	③子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	A
	④身近な自然や社会と関われるような取り組みがされている。	A
	⑤さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	A
	⑥遊びや生活を通じて、人間関係が育つよう配慮している。	A
	⑦子どもの人権に十分配慮するとともに、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	A
	⑧性差への先入観による固定的な観念や役割分担意識を植え付けないよう配慮している。	A
	⑨乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
	⑩長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
	⑪障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A

4 子育て支援		
(1) 入所児童の保護者の育児支援	①子どもの発達や育児などについて、懇談会や保育参加など保護者と共通理解を得るための機会を設けるとともに、一人一人の保護者と日常的な情報交換や個別面談などを行っている。	A
	②虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、児童相談所などの関係機関に照会・通告を行う体制が整っている。	A
(2) 多様な子育てニーズへの対応	①多様な子育てニーズを把握するための取り組みを行い、それを活動や事業に反映している。	B
(3) 地域の子育て支援	①育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている。	B
	②一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	A